

農技研ニュース

2006年 1月

岐阜県農業技術研究所 岐阜市又丸729-1 TEL 058-239-3131
南濃試験地 海津市海津町平原1165 TEL 0584-53-0175
池田試験地 揖斐郡池田町般若畑631-11 TEL 0585-45-3837
<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/g-agri/index.html>

新技術です

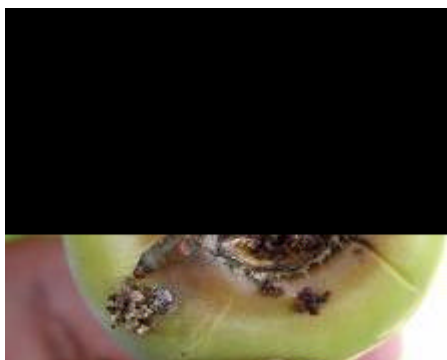
日本初！ カキ専用の性フェロモン剤です カキノヘタムシガの防除対策

カキノヘタムシガ成虫



体長 5~7mm

カキノヘタムシガは、幼虫がカキの実にもぐって食害するため、防除が難しく被害も大きい害虫です。そこで、大学・企業と共同研究を行い、成虫から性フェロモン成分を抽出・同定しました。農業改良普及センター等の協力により、試作した性フェロモン剤について試験したところ、農薬と同等以上の防除効果が得られることがわかりました。(特許出願中)
現在、農薬登録に向けた準備を行っています。

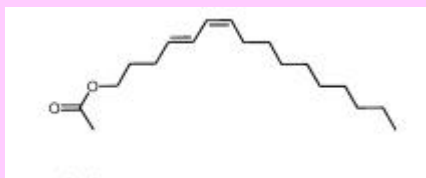


幼虫と被害果実

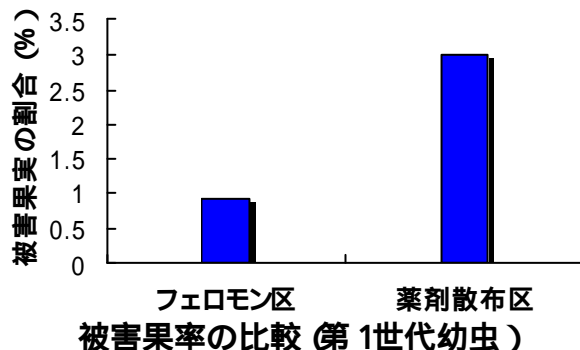
交信攪乱による交尾阻害を目的とした性フェロモン剤(ディスペンサー)を1本の樹に2~3本取り付けるだけで効果があります。



性フェロモンの主成分



(4E,6Z)-4,6-hexadecadienyl acetate



農業技術研究所成果検討会のお知らせ

平成17年度研究成果の発表と検討を行います。多数のご参加をお待ちしています。
日時:平成18年2月24日(金)午後1時~4時30分 場所:当所講堂
お申し込み、お問い合わせは、環境部矢野までお願いいたします。

新品種です

「フランネルフラワー」の鉢花用品種



品種名は
「ウェアリーホワイト」
白い妖精です。

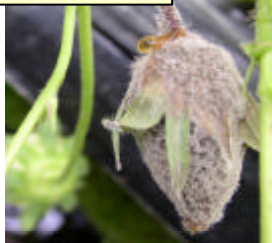


フランネルフラワーは、オーストラリア原産のセリ科の植物で、日本へは自生種が切り花として輸入されていますが、鉢花種は原産国でも育成されていません。
オーストラリアから導入した矮性の系統から選抜して、鉢花に適した品種を育成しました。
(品種登録出願中)

普及中です

暖房機ダクトを利用した微生物農薬の散布技術

イチゴ灰色かび病



野菜や花の灰色かび病は防除が難しい病気で、湿度が高いと発生しやすくなります。この対策として、有用微生物(バチルス菌)を暖房機の送風口に粉のまま投入するだけで、送風ダクトから施設全体に散布して防除する技術を出光興産(株)と共同で開発しました。(特許出願中)
この技術は施設栽培のキュウリ・トマト・イチゴ・シクラメンなどで利用され、本県以外にも全国で普及しつつあります。



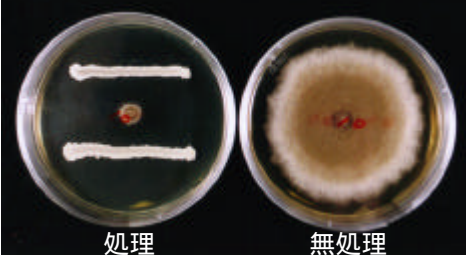
微生物はダクトを通して施設全体に広がります



スプーン1杯投入するだけ。散布は暖房機の自動運転。水を使わないので、湿度が高くなり、病気の発生も少なくなります。

バチルス菌の拮抗作用

病原菌の生育が抑制される!



処理

無処理